

2019年6月13日

輸送動向について（2019年5月分）

1. 輸送概況

5月のコンテナは、関東内での建設発生土輸送等が順調に推移したエコ関連物資のほか、大手自動車メーカーの販売好調により東海・九州間および東海発東北向けが好調に推移した自動車部品が、前年を上回った。

一方、ゴールデンウィーク期の天候不順により九州向けの飲料が低調に推移した食料工業品、国内需要減少に伴って東北発関東向けで減送となった紙・パルプ、東北・新潟・北陸発関西・九州向けの民間流通米輸送が減少した農産品・青果物が前年を下回った。また米中貿易摩擦の影響により中国向けの需要が落ち込んでいる化学工業品、化学薬品が大幅な減送となった。この結果、コンテナ全体では前年比95.7%となった。

車扱は、石油がゴールデンウィーク期の天候不順に伴って行楽需要が伸びず、ガソリンを中心に低調な荷動きとなったほか、石灰石が工場の設備不具合の影響を受け減送となった。車扱全体では前年比94.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比95.5%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,638	1,711	95.7%	3,488	3,654	95.4%
車 扱	565	596	94.8%	1,261	1,254	100.6%
合 計	2,204	2,307	95.5%	4,749	4,909	96.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	103	110	-7	93.4%
	化学工業品	150	165	-15	91.0%
	化学薬品	107	116	-9	92.3%
	食料工業品	278	298	-20	93.5%
	紙・パルプ	216	230	-14	93.7%
	他工業品	120	126	-6	95.6%
	積合せ貨物	227	230	-3	98.4%
	自動車部品	73	73	0	100.1%
	家電・情報機器	35	35	0	98.5%
	エコ関連物資	47	39	8	120.9%
	その他	282	289	-7	97.7%
	コンテナ計	1,638	1,711	-73	95.7%
車 扱	石油	412	426	-14	96.7%
	セメント・石灰石	57	64	-7	89.2%
	車 両	58	60	-2	96.9%
	その他	38	46	-8	82.6%
	車 扱 計	565	596	-31	94.8%
合 計	2,204	2,307	-103	95.5%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)